

プリンタステーション コマンドリファレンス

- はじめに
- 初期印刷設定の手順
- プリンタステーションの概要
- プリンタステーションのメニュー
- ジョブについて
- 印刷設定を行う
- 取込テンプレートを利用する
- 印刷を行う
- 分版を行う
- デバイスプリセット管理
- プリンタキャリブレーション
- ユーザー管理

はじめに

本文中の表記について

- メニューに表示する項目は[ファイル]メニューのように[]で表記。
- 画面に表示するタブやボタンなどは【OK】のように【 】で表記。
- ダイアログ画面の名称は『用紙設定』のように『 』で表記。
- キーボードの表記は **Shift** キーというように **□** で表記。

特記事項について

 ヒント	プリンタステーションを使用する際に便利な使い方、ヒントについて説明しています。
 注意	プリンタステーションを使用する際に注意する点を説明しています。
特記事項の例	
Shift キーを押しながらクリックで選択を行うと、追加選択や部分的な選択解除が行えます。	
特記事項の内容は上記のように青い枠の中に記載しています。	

初期印刷設定の手順

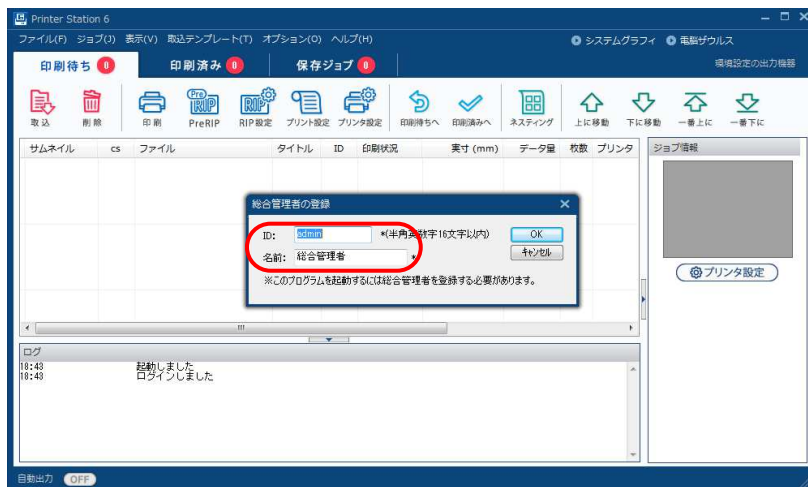
初期起動時の環境設定

1. プリントステーションを初回起動すると『総合管理者の登録』ダイアログが開きます。

総合管理者の ID と名前を入力して【OK】をクリックしてください。

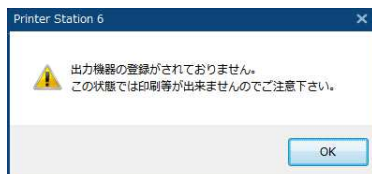
※総合管理者の ID は登録後に変更することが出来ませんのでご注意ください。

※ユーザー管理の詳細は、別項「ユーザー管理」を参照してください。

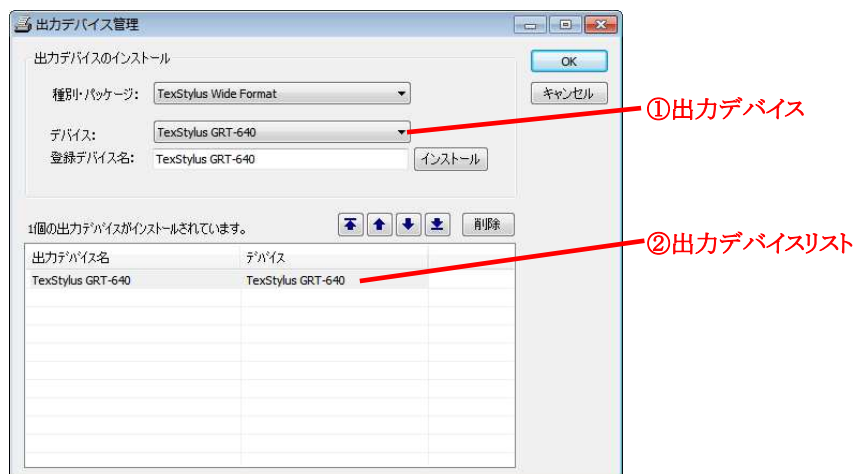


※起動時に下記の警告が表示される場合は出力デバイスが未登録の状態です。

メニューバーから [ファイル]-[出力デバイス管理] を選択して出力デバイスを登録します。

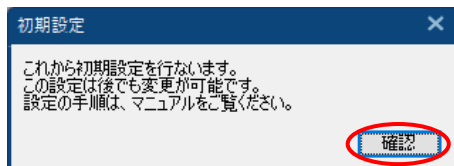


2. 『出力デバイス管理』ダイアログから利用したい出力デバイスを選択して、【インストール】をクリックすると、出力デバイスリストに追加されます。



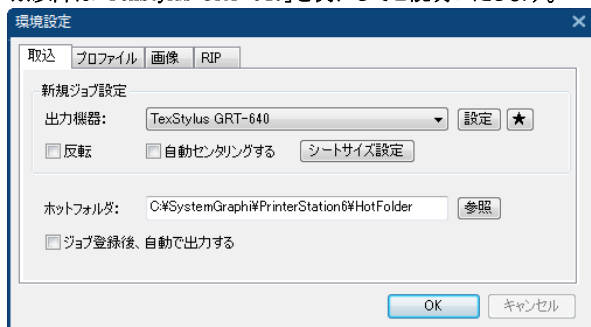
※利用したい出力デバイスを追加してから【OK】をクリックしてください。

3. 『初期設定』ダイアログが表示されますので、内容を確認してから【確認】をクリックします。



4. 『環境設定』ダイアログが開きます。

※以降は「TexStylus GRT-640」を例にしてご説明いたします。



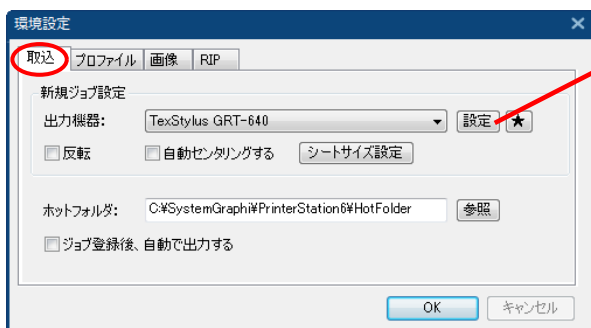
設定項目については、ご利用になる出力機器によって異なります。出力機器の設定項目につきましては『プリンタ設定』のヘルプボタンをクリックしてご確認下さい。



5. 『環境設定』ダイアログの【取込】タブをクリックして設定項目を表示します。

新規ジョブ設定で指定された項目は、印刷するファイルをプリンタステーションに取り込んだ際に反映されますので、運用上よく使う設定を指定しておくことをお勧めします。また、ホットフォルダの指定についても初期設定のままで利用することをお勧めします。

※ホットフォルダの指定を間違えると正しく動作しないことがあります。



『プリンタ設定』ダイアログが開きます。

出力機器:

プリンタステーションから出力を行う出力機器(※以降プリンタ)を選択します。

【設定】をクリックすると、選択したプリンタの『プリンタ設定』ダイアログが開きます。

反転:

チェックを入れると、左右反転して印刷されます。(昇華転写の場合はチェックします)

自動センタリングする:

チェックを入れると、『シートサイズ設定』に設定された内容に従い、
取り込み時にセンタリングを行います。

ホットフォルダ:

ホットフォルダとは、プリンタステーションに取り込まれる前のファイルを一時的に保管する
フォルダです。プリンタステーションはホットフォルダ内のデータの有無を一定間隔でチェッ
クし、取り込み可能なファイルを取り込んで印刷待ちリストに追加します。

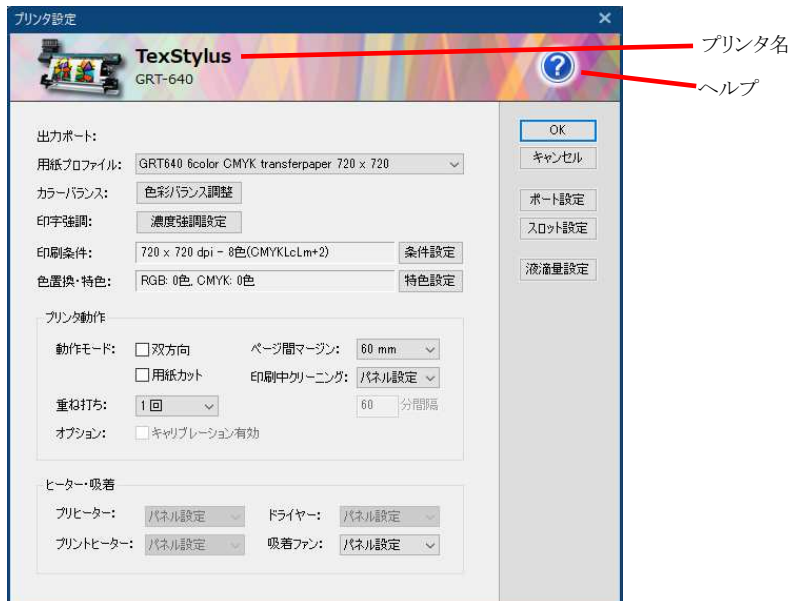
また、ホットフォルダの指定が間違っている場合や存在しない場合は、データの取り込みに
失敗するなどの不具合が発生する原因となりますのでご注意ください。

ジョブ登録後、自動で出力する:

チェックを入れると、【印刷待ち】タブのジョブリストの上から順に自動で印刷を行います。

(※ジョブに関しては、別項「ジョブについて」を参照してください)。

【取込】タブの「出力機器」右部の【設定】をクリックすると、『プリンタ設定』ダイアログが
開きます。この画面では、印刷時のプリンタ設定を行います。



プリンタ名: 設定中の出力機器の名称が表示されます。

ヘルプ: 設定中の出力機器の『プリンタ設定』ダイアログの操作説明ファイルが開きます。

出力ポート: 設定されている出力ポートが表示されます。

用紙プロファイル: 用紙・印刷条件を選択します。

カラーバランス:【色彩バランス調整】をクリックすると『色彩バランス調整』ダイアログが開きま
す。設定されたパラメータに従い、印刷データを調整します。

(→『色彩バランス調整』ダイアログについては 8 ページを参照)

印字強調:【濃度強調設定】をクリックすると『出力調整』ダイアログが開きます。

設定されたパラメータに従い、印刷時の濃度を強調します。

(→『出力調整』ダイアログについては 9 ページを参照)

印刷条件: プリンタ印刷条件設定が表示されています。

【条件設定】をクリックすると『プリンタ印刷条件の設定』ダイアログが開きます。

※一部の設定項目は変更できない場合があります。

(→『プリンタ印刷条件の設定』ダイアログについては 9 ページを参照)

色置換・特色: 設定されている色置換・特色の設定状況が表示されています。

【特色設定】をクリックすると『色置換・特色の設定リスト』ダイアログが開きます。特色を指定しておくと、印刷データ中に指定された色値と一致した場合に設定されたスロットのインク量で印刷されます。

(→『色置換・特色の設定リスト』ダイアログについては 10 ページを参照)

プリンタ動作:

動作モード: 印刷時の動作を設定します。

双方向: 印刷時の双方向印刷を有効にします。

用紙カット: 印刷終了後の用紙カットの動作を指定します。

ページ間マージン: 連続して印刷を行う際の、ページ間の余白を選択します。

※「0 mm」が設定されても、わずかな余白ができます。

印刷中クリーニング: 設定された時間間隔でヘッドクリーニングをおこないます。

クリーニングの間隔と強さを指定することで印刷中にヘッドクリーニングが実行されます。※時間間隔は 1～1000 分の値を指定できます。

重ね打ち: インクの重ね打ちを行う回数を選択します。

オプション: キャリブレーション動作の設定をします。

ヒーター・吸着:

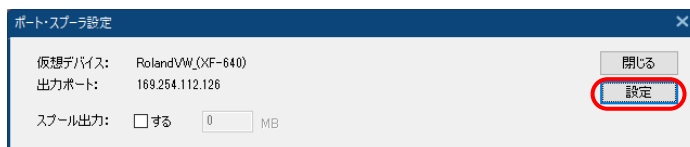
吸着ファン: 吸着ファンの強さを選択します。

『ポート・スプーラ設定』

『プリンタ設定』ダイアログの【ポート設定】をクリックすると開きます。

印刷データを送信するプリンタに関する設定を行います。

この設定を間違えるとプリンタが正しく動作しません。



仮想デバイス: 仮想デバイスとして設定されているプリンタ名が表示されます。

出力ポート: 選択したプリンタドライバに設定されているポートが表示されます。

スプーラ出力: 通常は利用しません。

チェックを入れると印刷データをスプーラに送る際、指定容量分のデータを蓄積してからスプーラに送ります。

容量の指定は、チェック右の入力欄で指定します。

【設定】: クリックすると『デバイスの選択』ダイアログが開きます。このダイアログで仮想デバイスとして利用するプリンタドライバを選択します。

『デバイスの選択』

『ポート・スプーラ設定』ダイアログの【設定】をクリックすると開きます。

仮想デバイスとして利用するプリンタドライバを選択します。



デバイスリスト: インストールされているプリンタドライバを選択します。

デバイス名: 選択したプリンタドライバ名が表示されます。

ポート名: 選択したプリンタドライバに設定されているポート名が表示されます。

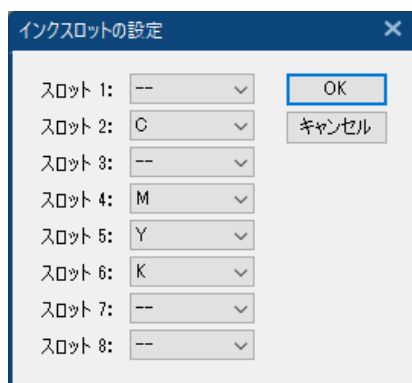
【詳細選択】: クリックすると『プリンターの設定』ダイアログが開きます。

インストールされているプリンタドライバからデバイスとして選択したプリンターのポートの接続状態や、プロパティを確認する事ができます。

『インクスロットの設定』

『プリンタ設定』ダイアログの【スロット設定】をクリックすると開きます。

プリンタの各インクスロットにセットされている各色の位置を設定します。



『インク液滴量設定』

『プリンタ設定』ダイアログの【液滴量設定】をクリックすると開きます。

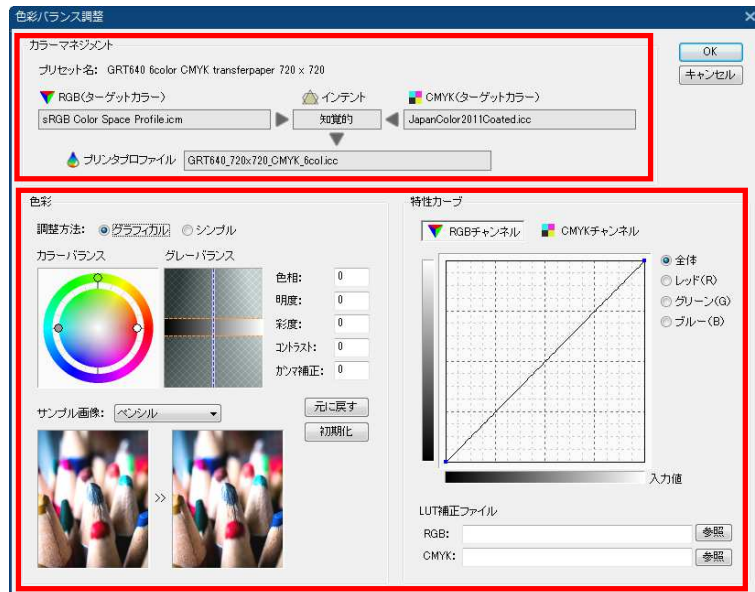
印刷時に消費するインク使用量の目安を計算する為に必要な1ドットごとの液滴量を、「pl(ピコリットル)」単位で設定します。



『色彩バランス調整』

『プリンタ設定』ダイアログの【色彩バランス調整】をクリックすると開きます。

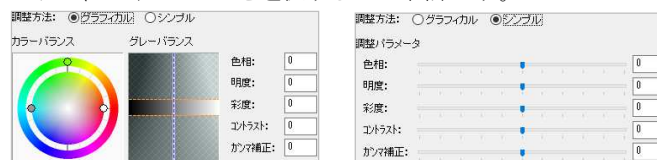
用紙プロファイルで指定されているカラーマネージメントに関する設定や、印刷データの調整に使用する「カラーバランス」「グレーバランス」「特性カーブ」「LUT 補正ファイル」を設定します。



カラーマネージメント：用紙プロファイルに設定されている主要な項目が表示されます。

色彩：印刷データ調整に利用されるパラメータを指定します。

調整方法：グラフィカル/シンプルを選択することが出来ます。



※「グラフィカル」を選択した状態

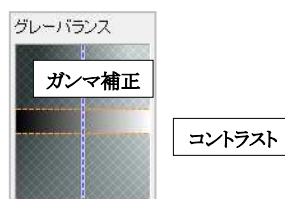
※「シンプル」を選択した状態

カラーバランス：色相、明度、彩度を指定します。マウสดラッグで調整します。



※色相は一周、彩度・明度は左右半円内を上下に移動します。

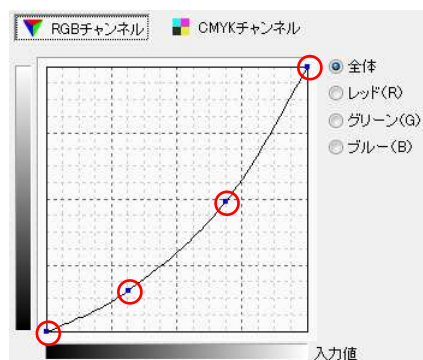
グレーバランス：コントラスト、ガンマ補正を指定します。マウสดラッグで調整します。



※ガンマ補正は左右、コントラストは上下に移動します。

特性カーブ: RGB/CMYK カラー値の入出力をカーブ指定します。

特性カーブの編集



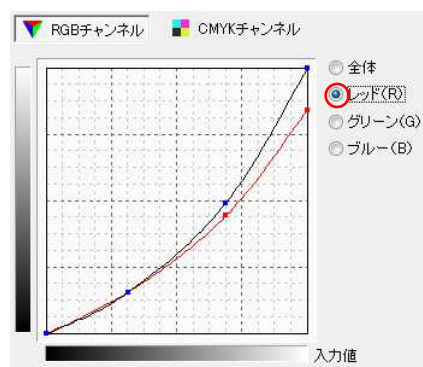
変曲点の登録: カーブと背景メッシュの交差付近でマウスをドラッグするか、マウスの右ボタンをクリックします。

変曲点の削除: 変曲点上でマウスの右ボタンをクリックします。

変曲点の移動: 変曲点上でマウスをドラッグすると上下移動ができます。

※変曲点は最大 15 個まで登録できます。

特定のカラーチャンネルを編集する



編集対象のカラーチャンネルを選択して変曲点を操作します。

LUT 補正ファイル: RGB/CMYK カラー値の入出力を LUT ファイルで設定します。

『出力調整』

『プリンタ設定』ダイアログの【濃度強調設定】をクリックして開きます。



モード: 強調モード設定のプリセットを選択します。

「詳細設定」を選択すると【>>】が操作可能となり、『強調モード設定』ダイアログが開きます。

※強調したい項目にチェックを入れます。

倍率: 1.00 - 5.00 で濃度の倍率を指定します。

傾き: 0 - 50 で指定します。

値を大きくすると、鮮やかな色だけがより強調され、淡い色はあまり強調されなくなります。

範囲: 0 - 50 で指定します。値を大きくすると、強調される色の範囲が広がります。

※【初期化】をクリックすると全てのパラメータがリセットされます。



『強調モード設定』ダイアログの設定項目について

- ・「原色方向の強調」グループはベタのカラーを強調します。
- ・「視覚特性による伸張」グループは写真画像を強調します。

『プリンタ印刷条件の設定』

『プリンタ設定』ダイアログの【条件設定】をクリックして開きます。

プリンタ印刷条件を設定します。



印字品質:

解像度: 印刷時の解像度を設定します。

インク設定: プリンタにセットされているインクスロット構成に合わせて設定します。

プリンタ動作:

用紙送り補正: 印刷時にバンド毎の隙間や重なりが見られた場合に設定します。

『色置換・特色の設定リスト』

『プリンタ設定』ダイアログの【特色設定】をクリックして開きます。

特色設定は設定された入力値が印刷データ中の入力値と一致した場合に、指定したインクスロットのインク量で印刷する仕組みです。

※下記は赤/緑/青を CMYK インクの最大インク量で再現/印刷する設定例です。

- 1). 【追加】をクリックして、『色置換の設定』ダイアログを開きます。

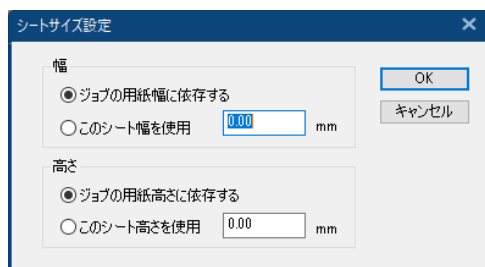
- 2). 【設定名】を「赤」、入力値の R に「255」を、出力値の M・Y に「100」を設定して【OK】をクリックしてください。(同様の手順で緑・青も指定してください)

- 3). 下記のように色置換・特色の設定をすることで各インクの混合率で印刷することができます。

『シートサイズ設定』

【取込】タブの【シートサイズ設定】をクリックして開きます。

この画面では、自動センタリング実行時に参照するシートの幅と高さを設定します。



幅:

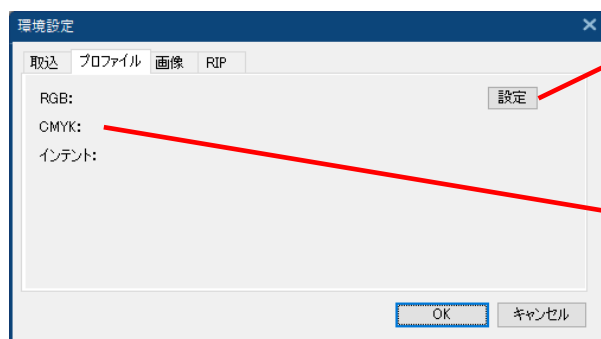
プリンタにセットされている用紙幅を参考に入力します。

高さ:

印刷レイアウトの高さなどを参考に入力します。

6. 『環境設定』ダイアログの【プロファイル】タブをクリックして表示します。

この画面では、『プロファイル設定』ダイアログで設定したプロファイル情報が表示されます。

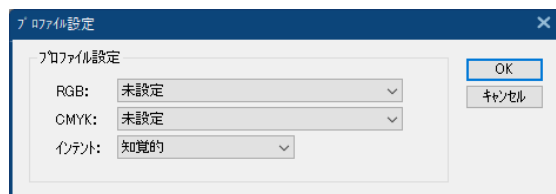


『プロファイル設定』ダイアログが開きます。

『プロファイル設定』ダイアログで設定したプロファイル情報が表示されます。

【プロファイル】ダイアログ右部の【設定】をクリックし、『プロファイル設定』を開きます。

この画面では、RGB・CMYKの色変換を行う際のカラープロファイルを設定します。



RGB:

RGB プロファイルを選択します。

CMYK:

CMYK プロファイルを選択します。

Intent:

プロファイル変換の方法を、「知覚的」、「相対的色彩」、「彩度」、「絶対的色彩」の四つから選択します。

知覚的 : 人の目に色が自然に映るよう、色間の視覚的な関係を保護します。

相対的色彩：変換元のカラースペースの最大ハイライトと、変換先のカラースペースの最大ハイライトを比較し、その差だけシフトして全ての色を変換します。
色域外の色は、変換先カラースペース内で再現可能な近似色に変換されます。

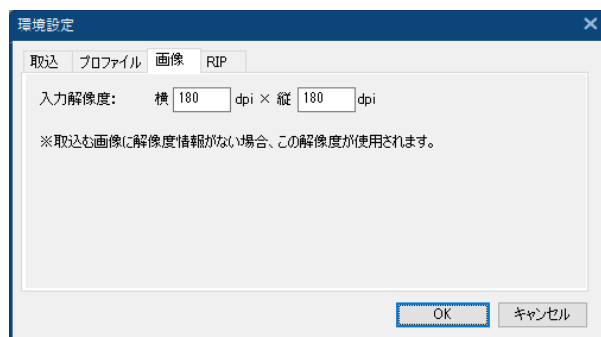
彩度：画像の鮮明な色を再現することを重視します。

絶対的色彩：変換先の色域に収まるカラーには変化が生じません。色域から外れるカラーはクリップされます。

※デフォルトでは RGB・CMYK 共に選択が「未設定」ですが、間違いではありません。

7. 『環境設定』ダイアログの【画像】タブをクリックして表示します。

この画面では、解像度が登録されていない画像(ファイル)をプリンタステーションに取り込む際に使用する解像度を設定します。

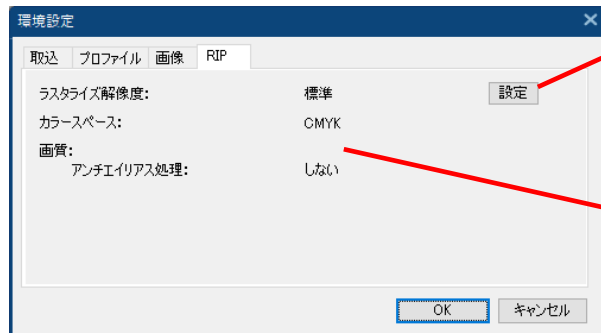


入力解像度:

縦・横それぞれの解像度を設定します。

8. 『環境設定』ダイアログの【RIP】タブをクリックして表示します。

この画面では、『RIP 設定』ダイアログで設定したラスタライズ処理の設定が表示されます。

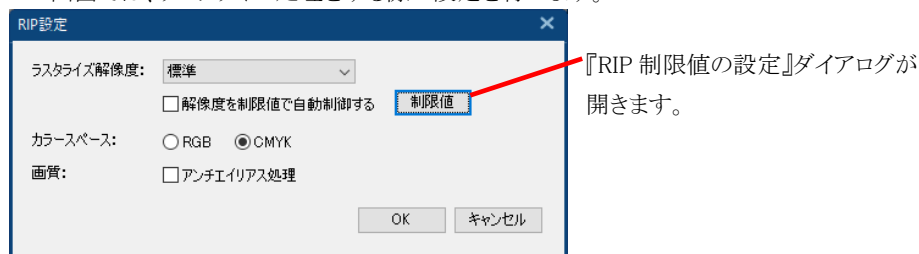


『RIP 設定』ダイアログが開きます。

『RIP 設定』ダイアログで設定した項目を表示します。

【RIP】タブ右部の【設定】をクリックし、『RIP 設定』ダイアログを開きます。

この画面では、ラスタライズ処理をする際の設定を行います。



『RIP 制限値の設定』ダイアログが開きます。

ラスタライズ解像度:

ラスタライズ処理で生成される画像の解像度を、「ドラフト」「標準」「高品位」の三段階から選択します(左から順に解像度が高くなります)。

解像度を高く設定するとデータ量が増え、RIP 処理時間が長くなります。

カラースペース:

ラスタライズ時のカラーモード(RGB/CMYK)を選択します。

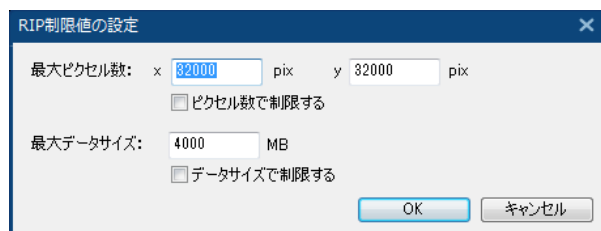
※画像・図面ファイルを取り込む際に、各ファイルのカラーモード自動取得して RIP 設定のカラースペースが選択されますが、自動取得が失敗した場合は、『環境設定』ダイアログの RIP 設定が適用されます。

アンチエイリアス処理:

チェックを入れると文字の縁などのボカシ処理を行います。

『RIP 設定』ダイアログ右部の【制限値】をクリックすると『RIP 制限値の設定』ダイアログが開きます。この画面では、ラスタライズ処理をする際の制限値を設定します。

アウトラインで表現された画像にラスタライズ処理をする際、データサイズなどの都合により、際限なく高解像度にはできないため、制限値を設定する必要があります。



最大ピクセル数:

ラスタライズ処理で生成される画像のピクセル数上限を設定します。

ピクセル数で制限する:

チェックを入れると最大ピクセル数で画像サイズの制限をおこないます。

最大データサイズ:

ラスタライズ処理で生成される画像のデータサイズ上限を設定します。

データサイズで制限する:

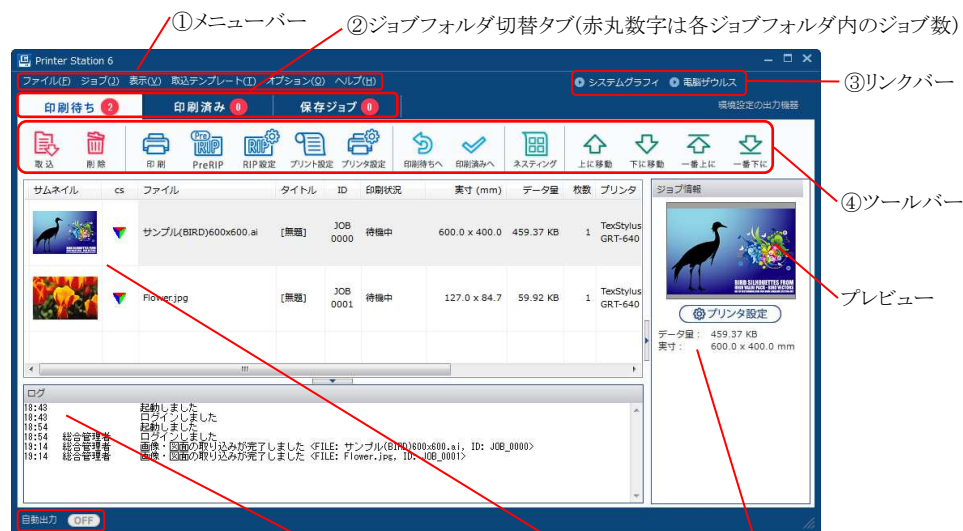
チェックを入れると最大データサイズで画像サイズの制限をおこないます。

※制限値が入力されていても、チェックが入っていない場合は制限処理は実行されません。

プリンタステーションの概要

プリンタステーションは、簡単な操作で高品質な印刷を行うことができます。

印刷したいファイルをジョブリストにドラッグ&ドロップするか、ツールバーの【取込】をクリックし印刷したいファイルを選択すると、プリンタステーションの【印刷待ち】のジョブリストに追加されます。



⑦「ジョブ登録後、自動で出力する」の設定状態を表示。

⑧ログパネル

⑤ジョブリスト

⑥ジョブパネル

①メニューバー：

プリンタステーションの各種操作が項目として表示されます。

②ジョブフォルダ切替タブ：

ジョブフォルダを【印刷待ち】、【印刷済み】、【保存ジョブ】に切り替えます。

また、それぞれに登録されているジョブの登録数が赤丸内に表示されます。

③リンクバー：

Web リンクが配置されています。

④ツールバー：

使用する頻度が高い機能のアイコンが配置されています。

⑤ジョブリスト：

プリンタステーションに追加されたジョブが表示されます。

⑥ジョブパネル：

選択したジョブの情報・プレビューが表示されます。

プレビューをクリックすると、拡大されたプレビューがポップアップ表示されます。

⑦「ジョブ登録後、自動で出力する」の設定状態：

設定を ON にすると【印刷待ち】のジョブリストの上から順に、自動的に印刷を行います。

別項「初期印刷設定の手順」の【取込】の説明を参照してください。

⑧ログパネル：

ジョブの追加/プリント設定などの操作結果を記録して表示します。

プリンタステーションのメニュー



プリンタステーションのメニューはジョブ選択の状態やご利用中の設定・環境によって、操作不可になる場合や表記が変化することがあります。また、よく利用する機能についてはメニュー以外にツールバーやマウスの右ボタンメニューでも利用することが出来ます。



ファイルメニュー

● 画像・図面の取込

画像・図面ファイルを選択し、プリンタステーションに取り込みます。
取り込まれたファイルは【印刷待ち】のジョブリストに追加されます。
追加されたジョブには「取込テンプレート」の選択に従って出力機器が設定されます。
※別項「ジョブについて」を参照してください。

● 出力デバイス管理

プリンタステーションで印刷する際に使用するプリンタモジュールの管理をおこないます。
別項「初期印刷設定の手順」を参照してください。

● 環境設定

プリンタステーションの全般的な動作設定を行います。
別項「初期印刷設定の手順」を参照してください。

● 終了

プリンタステーションを終了します。
※「印刷中」「プレ RIP 中」はプリンタステーションを終了することができません。



ジョブメニュー

● 印刷

ジョブリストから印刷するジョブを選択し、[ジョブ]-[印刷]を選択すると印刷を開始します。

※印刷が終了したジョブは自動的に【印刷済み】ジョブリストへ移動します。

● プレ RIP

選択したジョブの RIP データファイルを作成します。

RIP データファイルが作成されると、印刷状況が「プレ RIP 済み」に変化します。

※RIP データファイルを作成しておくことで印刷開始時間を短縮することができます。

● 中止

印刷/プレ RIP などの処理を中止します。

● プリント設定

選択したジョブを印刷する際の印刷設定を行います。

※別項「印刷設定を行う」を参照してください。

● RIP 設定

選択したジョブに画像化処理を行う際の条件を設定します。

※別項「印刷設定を行う」の RIP 設定の説明を参照してください。

● プリンタ設定

選択したジョブを印刷する際に使用する出力機器の条件を設定します。

※別項「印刷設定を行う」を参照してください。

● コピー

選択したジョブを複製してジョブリストに追加します。

● ネスティング

用紙を効率よく使用したい場合など、複数ジョブをまとめて印刷することが出来ます。

複数ジョブを選択後に[ネスティング]を実行すると、「ネスティングプログラム」が起動します。

レイアウトした結果を印刷する場合は「ネスティングプログラム」のコマンド「アプリケーションに送信」を実行すると、プリンタステーションの印刷待ちジョブリストに新規ジョブとして追加されます。

※選択ジョブが maf ファイルの時は[ネスティング編集]となり、再レイアウトが出来ます。

※詳細な操作説明は別紙「ImageNesting コマンドリファレンス」を参照してください。



● 削除

選択したジョブを削除します。元に戻すことは出来ません。

● 上に移動

選択したジョブをジョブリストの現在位置から一つ上に移動します。

● 下に移動

選択したジョブをジョブリストの現在位置から一つ下に移動します。

● 一番上に移動

選択したジョブをジョブリストの先頭に移動します。

● 一番下に移動

選択したジョブをジョブリストの末尾に移動します。

● 印刷待ちへ戻す

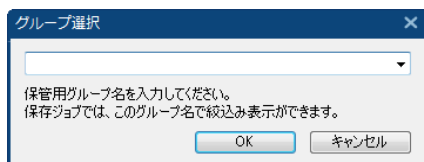
選択したジョブを【印刷待ち】のジョブリストに移動します。

● 印刷済みへ送る

選択したジョブを【印刷済み】のジョブリストに移動します。

● 保存ジョブへ移動

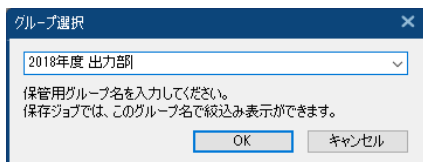
選択したジョブを【保存ジョブ】リストに移動します。移動する際に下記の『グループ選択』ダイアログが表示されるので、そのジョブのグループ名を入力します。【保存ジョブ】右部のリストからグループ名を選択すると、選択したグループのジョブのみ表示することができます。





● グループ名を変更

ジョブフォルダを【保存ジョブ】に切り替え、各ジョブ上で右クリック時に開くメニュー項目から[グループ名を変更]にてグループ名の変更ができます。



● 画像・図面のエクスポート

選択したジョブが管理しているファイルを指定フォルダに保存します。

● 分版 ImgSeparator 起動

弊社製ソフトウェア ImageSeparator を起動します。指定された画像・図面ファイルから CMYK の分版画像 (TIFF ファイル) を作成して、指定されたフォルダに保存します。

※別項「分版を行う」を参照してください。

● 取込テンプレートに登録

選択したジョブのプリンタ設定を「取込テンプレート」として登録します。

登録した取込テンプレートを選択状態にしておくことで、新規ジョブを取り込んだ際に取込テンプレートのプリンタ設定が利用されます。

※別項「取込テンプレートを利用する」を参照してください。

表示(V)		
✓	印刷待ちリスト	Ctrl+1
✓	印刷済みリスト	Ctrl+2
	保存ジョブリスト	Ctrl+3
✓	リストにサムネイルを表示	
✓	ジョブパネルを表示	
✓	ログパネルを表示	
	ツールバー編集...	

表示メニュー

● 印刷待ちリスト

印刷待ちジョブを表示します。(※ジョブフォルダ切替【印刷待ち】クリックと同意)

● 印刷済みリスト

印刷済みジョブを表示します。(※ジョブフォルダ切替【印刷済み】クリックと同意)

● 保存ジョブリスト

保存ジョブを表示します。(※ジョブフォルダ切替【保存ジョブ】クリックと同意)

● リストにサムネイルを表示

各ジョブリストの表示スタイルでサムネイル表示・非表示を切り替えます。

サムネイル	cs	ファイル	タイトル	ID	印刷状況	実寸 (mm)	データ量	枚数	プリンタ
		サンプル(BIRD)600x600.ai	[無題]	JOB 0000	待機中	600.0 x 400.0	459.37 KB	1	TexStylus GRT-640
		Flower.jpg	[無題]	JOB 0001	待機中	127.0 x 84.7	59.92 KB	1	TexStylus GRT-640

サムネイル表示

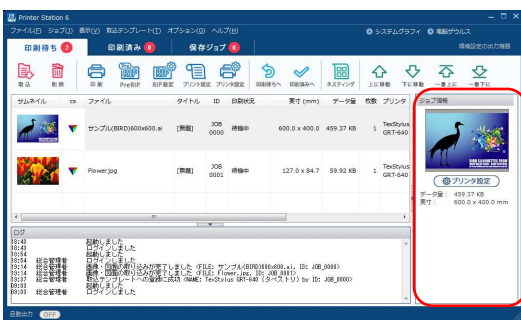
cs	ファイル	タイトル	ID	印刷状況	実寸 (mm)	データ量	枚数	プリンタ	デバイス
	サンプル(BIRD)600x600.ai	[無題]	JOB...	待機中	600.0 x 400.0	459.37 KB	1	TexStylus GR...	
	Flower.jpg	[無題]	JOB...	待機中	127.0 x 84.7	59.92 KB	1	TexStylus GR...	

サムネイル非表示

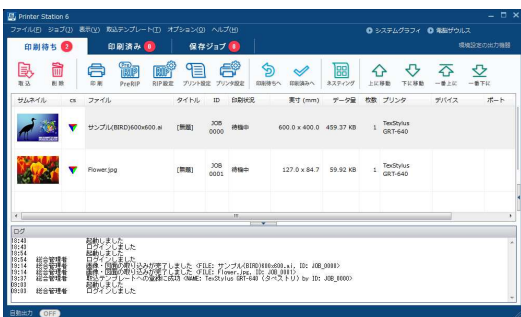
- 表示(V)
- ✓ 印刷待ちリスト Ctrl+1
 - ✓ 印刷済みリスト Ctrl+2
 - ✓ 保存ジョブリスト Ctrl+3
 - ✓ リストにサムネイルを表示
 - ✓ ジョブパネルを表示
 - ✓ ログパネルを表示
 - ツールバー編集...

● ジョブパネルを表示

ジョブパネルの表示・非表示を切り替えます。



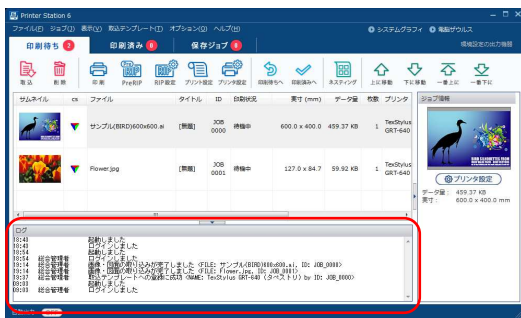
ジョブパネル表示



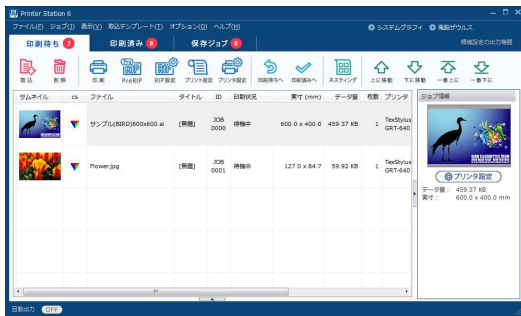
ジョブパネル非表示

● ログパネルを表示

ログパネルの表示・非表示を切り替えます。



ログパネル表示

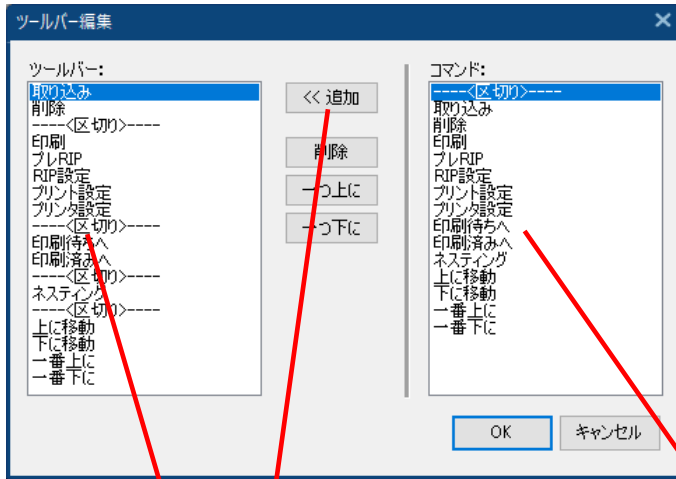


ログパネル非表示

表示(V)		
✓	印刷待ちリスト	Ctrl+1
✓	印刷済みリスト	Ctrl+2
✓	保存ジョブリスト	Ctrl+3
✓	リストにサムネイルを表示	
✓	ジョブパネルを表示	
✓	ログパネルを表示	
	ツールバー編集...	

● ツールバー編集

プリンタステーション画面上部にあるツールバーの表示項目を設定します。



現在の表示状態

項目操作ボタン

セット可能な項目

- ・表示する各項目の追加/削除や順番の並び替えをおこないます。



取込テンプレート

- 環境設定の出力機器

『環境設定』ダイアログの【取込】で設定したプリンタ設定を新規ジョブ作成時に利用します。

- 取込テンプレートの編集

登録された取込テンプレートの編集をおこないません。

※別項「取込テンプレートを利用する」を参照してください。

オプション

● デバイスプリセット管理

各出力機器に設定されている印刷設定プリセットを操作できます。

別項「デバイスプリセット管理」を参照してください。

● プリンタキャリブレーション

対応した出力機器に設定出来る、キャリブレーションファイルを作成できます。

別項「プリンタキャリブレーション」を参照してください。

● ユーザーログイン

登録済みのユーザー ID を入力してログインを実行します。ユーザー権限によって、利用可能な機能が変化します。

別項「ユーザー管理」を参照してください。

● ユーザー管理

登録済みのユーザー情報を編集します。ログイン中のユーザーに設定された権限によっては操作する事が出来ません。

別項「ユーザー管理」を参照してください。

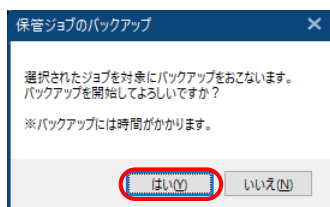
● 保存ジョブのバックアップ

保存ジョブリストに表示されているジョブを指定フォルダにバックアップします。

※以降はローカルフォルダへのバックアップ手順です。

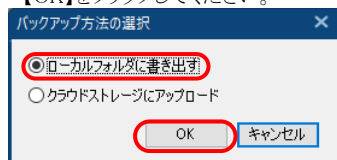
1).バックアップ開始の確認画面が表示されます。バックアップを開始する場合は

【はい】をクリックしてください。



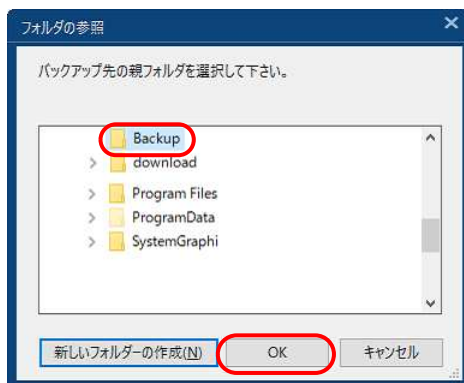
2).バックアップ方法を選択します。「ローカルフォルダに書き出す」を選択してから

【OK】をクリックしてください。

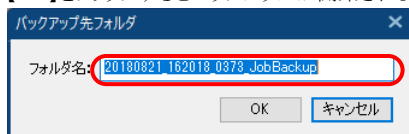




- 3). 下記の画面からバックアップ先の親フォルダを選択して【OK】をクリックしてください。
※適当なフォルダが無い場合は【新しいフォルダーの作成】をクリックして作成します。



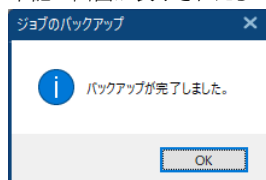
- 4). 自動生成されたバックアップ先フォルダを確認してください。必要であれば変更してから【OK】をクリックするとバックアップが開始されます。



※バックアップフォルダは「実行時間_JobBackup」で作成されます。

例) 「20180816_120000_0731_JobBackup」

- 5). 下記の画面が表示されたらバックアップは完了です。

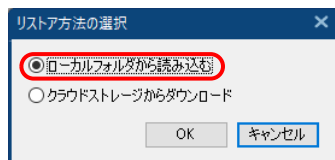


● 保存ジョブのリストア

バックアップされたジョブを保存ジョブリストへリストアします。

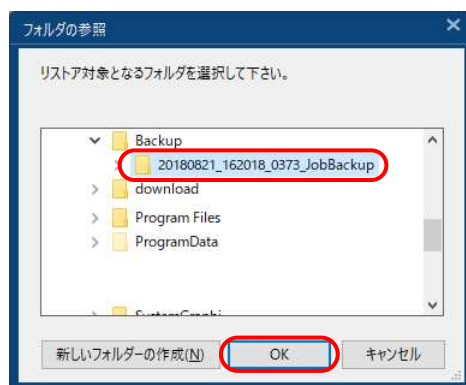
※以降はローカルフォルダからのリストア手順です。

- 1). リストア方法を選択します。「ローカルフォルダから読み込む」を選択してから【OK】をクリックしてください。

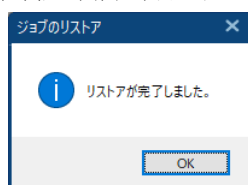




2). リストア対象の元フォルダを選択してから【OK】をクリックすると、リストアを開始します。



3). 下記の画面が表示されたらリストアは完了です。





ヘルプメニュー

- ヘルプマニュアル

プリンタステーションのマニュアルPDFを開きます。(Adobe Acrobat Reader 等が必要です)。

- バージョン情報

プリンタステーションの『バージョン情報』ダイアログが表示されます。

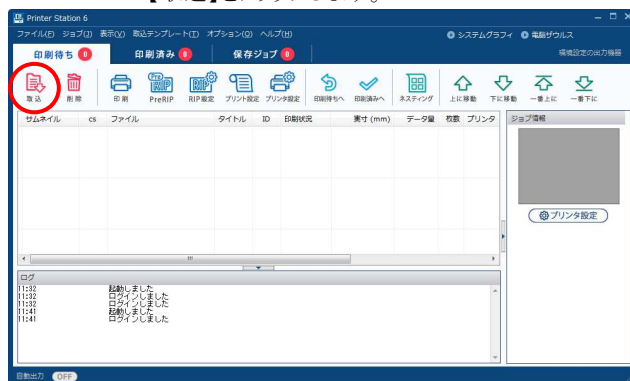


ジョブについて

プリンタステーションでは、印刷対象のデータのことをジョブと表現しています。
ここでは、印刷したいファイルをプリンタステーションにジョブとして追加する方法を説明します。

追加方法1. 【取込】を実行する

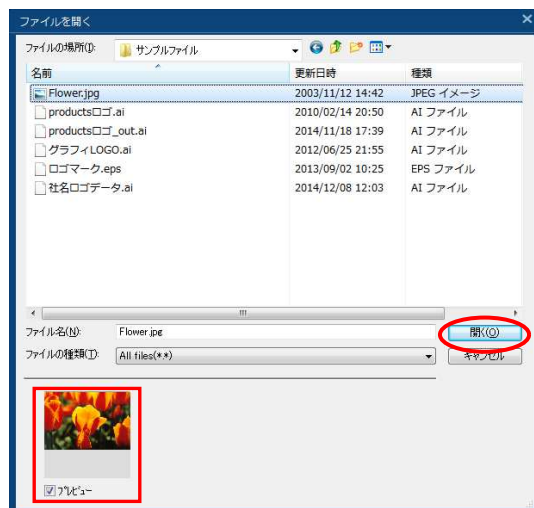
1. ツールバーの【取込】をクリックします。



2. 『ファイルを開く』ダイアログが開きます。

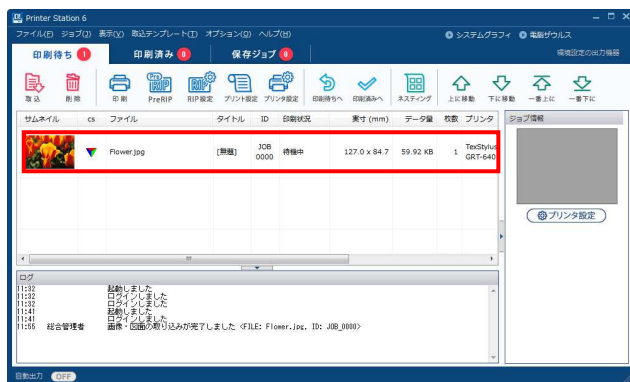
この画面で印刷したいファイルを選択します。

【プレビュー】にチェックを入れておくと、選択したファイルのプレビューがダイアログ下部に表示されます。印刷したいファイルを選択したら、【開く】をクリックします。



※選択されたファイルの種類によってはプレビューが表示されない場合があります。

3. 先ほど取り込んだファイルが【印刷待ち】のジョブリストに追加されます。(追加されたジョブには選択状態の取込テンプレートに登録されたプリンタ設定が適用されます)

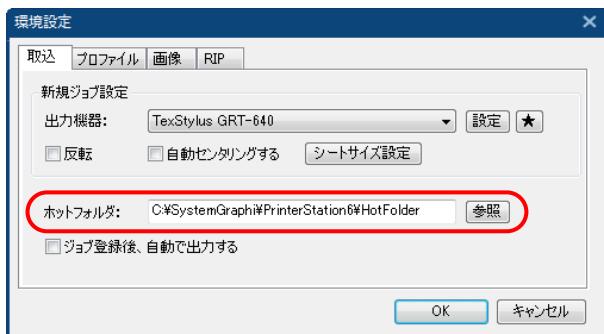


ヒント

ファイルを直接プリンタステーションの画面にドラッグ&ドロップしても、ファイルを取り込むことができます。

追加方法2. ホットフォルダにファイルを保存する

印刷したいファイルをホットフォルダに保存します。(エクスプローラなどを使用し、ファイルをホットフォルダへコピーまたは移動します) 保存されたファイルは自動的にプリンタステーションに取り込まれます。ホットフォルダの場所は『環境設定』ダイアログ([プリント]-[環境設定])で開く、【取込】タブの「ホットフォルダ」で確認できます。また、【参照】をクリックしてホットフォルダを変更できます。



注意

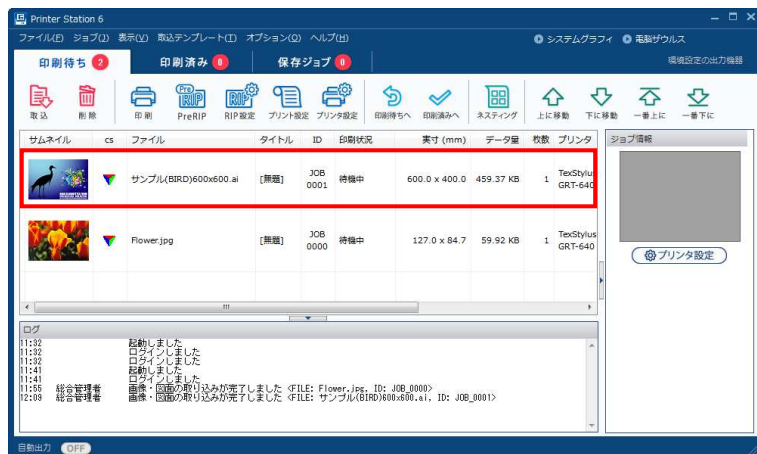
【ジョブ登録後、自動で出力する】にチェックが入っている状態で、ホットフォルダにファイルを保存すると、プリンタステーションによる取り込みが行われます。取り込み後、ホットフォルダからそのファイルは削除されます。プリンタステーションに対応していない拡張子のファイルも自動で取り込まれ、削除されますので、十分確認の上ホットフォルダにファイルを保存してください。

取り込みが可能なファイル形式と注意点

- PDF (PDF ファイル)
あらかじめ文字列をアウトライン化しておく必要があります。
設定されたカラーモードによって、色変換の際に、元の色から変化することがあります。
- PS (PostScript)
あらかじめ文字列をアウトライン化しておく必要があります。
設定されたカラーモードによって、色変換の際に、元の色から変化することがあります。
- EPS (Encapsulated PostScript)
あらかじめ文字列をアウトライン化しておく必要があります。
設定されたカラーモードによって、色変換の際に、元の色から変化することがあります。
- AI (Illustrator)
あらかじめ文字列をアウトライン化しておく必要があります。
設定されたカラーモードによって、色変換の際に、元の色から変化することがあります。
- TIF・TIFF (TIFF ファイル)
設定されたカラーモードによって、色変換の際に、元の色から変化することがあります。
- BMP (ビットマップファイル)
取り込み前の解像度から変更することはできません。
- PNG (PNG ファイル)
取り込み前の解像度から変更することはできません。
- JPG・JPEG (JPEG ファイル)
取り込み前の解像度から変更することはできません。
設定されたカラーモードによって、色変換の際に、元の色から変化することがあります。
- PSD (Photoshop)
設定されたカラーモードによって、色変換の際に、元の色から変化することがあります。
- SHF (弊社レイアウトファイル)
弊社で定義されたレイアウトのファイルフォーマットです。
- DGX (弊社編集ソフトウェアデータファイル)
弊社で定義された編集ソフトウェアのファイルフォーマットです。

ジョブの選択

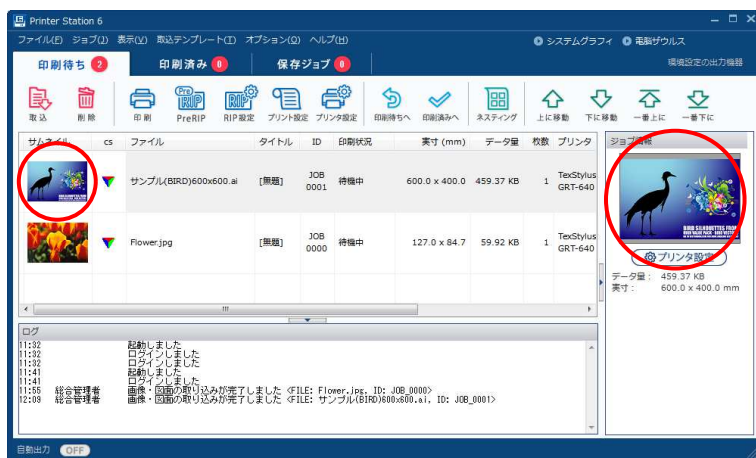
ジョブリストに表示されたジョブをクリックすると、そのジョブを選択することができます。
印刷などを行う際には、あらかじめジョブを選択しておく必要があります。



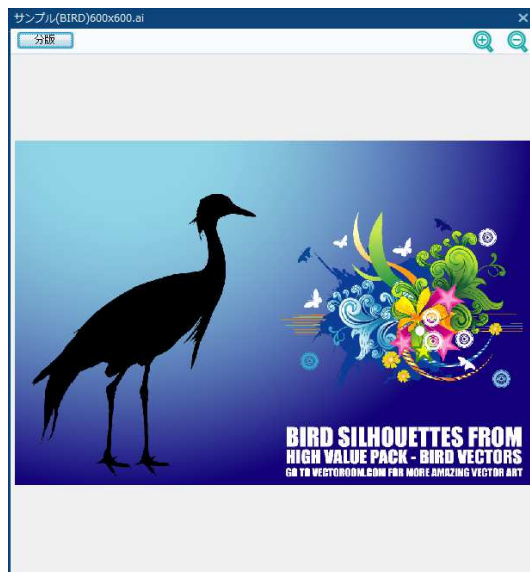
Shift キーを押しながらクリックで選択を行うと、追加選択や部分的な選択解除が行えます。

ジョブのプレビュー拡大

1. ジョブリストのサムネイルをダブルクリックするか、ジョブを選択してからジョブ情報のプレビュー部分をクリックしてください。



2. 拡大されたプレビューが表示されます。画面左上部の【分版】をクリックすると、分版を行うことができます。また、画面右上の🔍🔍をクリックするとズーム拡大・縮小が出来ます。
※【分版】については、別項「分版を行う」を参照してください。

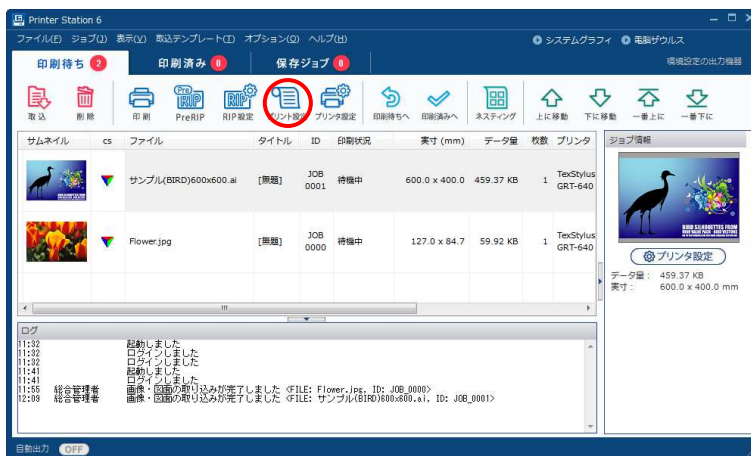


印刷設定を行う

ジョブごとに出力(印刷)方法の設定を行います。

プリント設定

1. ジョブを選択してから【プリント設定】をクリックするか、ジョブをダブルクリックします。



2. 『プリント設定』ダイアログが開きます。
【出力設定】タブをクリックして表示し、出力を行う機器や印刷方法などを設定します。



機器タイプ:

出力機器のタイプを選択します。
印刷を行う場合、【プリント】を選択します。

出力機器:

出力を行う機器(プリンタ)を選択します。
【設定】をクリックすると、選択した機器に応じた『プリンタ設定』が開きます。
※別項「初期印刷設定の手順」の『プリンタ設定』を参照してください。

出力タイプ:

印刷方法を、【シングル】【分割】【面付け】の三つのタイプから選択します。

なお、選択したタイプによって、画面上部タブが【シングル設定】、【分割設定】、【面付け設定】に切り替わります。

シングル : 印刷対象データを、一枚の用紙に一つ出力します。

分割 : 一つの印刷対象データを、複数の用紙に分割して出力します。

面付け : 印刷対象データを、一枚の用紙に複数並べて出力します。

タイトル:

印刷ジョブのタイトルを入力します。

反転:

チェックすると、印刷対象データを左右反転します。(昇華転写などで利用します)

90度回転:

チェックすると、印刷対象データを90度回転します。

※「出力タイプ」で「面付け」を選択した場合はチェックできません。

【出力設定】タブの【出力タイプ】で【シングル】を選択した場合は、【シングル設定】タブをクリックして印刷に使用される用紙のサイズや、印刷対象データの用紙上での配置を設定します。



ジョブサイズ:

印刷対象データのサイズが表示されます。

シートサイズ:

印刷レイアウトの基準となるシートサイズを入力します。

拡大縮小:

チェックを入れると、印刷対象データを「倍率」に入力した数値に応じて拡大縮小します。

移動量:

移動量を入力すると、用紙の左上を原点として印刷対象データの位置が設定されます。

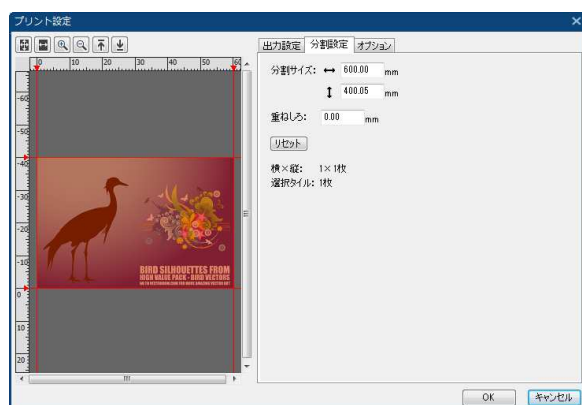
センタリング:

クリックすると、印刷対象データを「シートサイズ」の幅に対して中央に配置します。

シートフィット:

クリックすると、印刷対象データを「シートサイズ」に幅と高さに対して中央に配置した上で、印刷対象データを「シートサイズ」に収まるよう拡大縮小します。

【出力設定】タブの[出力タイプ]で【分割】を選択した場合は【分割設定】タブをクリックして、分割サイズや重ねしをを設定します。



分割サイズ:

印刷対象データの分割サイズを設定します。

重ねしろ:

分割印刷された複数用紙が互いに重なる部分の長さを設定します。

リセット: 分割サイズを印刷対象データサイズに合わせた後に、重ねしろも「0mm」に戻します。

横×縦:

「分割サイズ」、「重ねしろ」の設定に応じて、印刷対象データが横と縦それぞれ何枚の用紙に分割されるかが表示されます。

選択タイル:

分割された印刷対象データのうち、選択されているものの数が表示されます。

選択は、画面左部のプレビューで、分割されている部分をクリックすることで選択または解除することができます。また、選択されていないタイルは印刷されません。

【出力設定】タブの「出力タイプ」で【面付け】を選択した場合は【面付け設定】タブをクリックして、印刷に使用する用紙サイズや、用紙に印刷する印刷対象データの枚数を設定します。

「ステップ&リピート」のチェックを外した場合



シートサイズ:

印刷に使用される用紙の幅と高さを設定します。

用紙の幅より印刷対象データの画像幅が大きいと、印刷対象データは横に並びません。

面付け間隔:

複数の印刷対象データの間に空けておく間隔の長さを設定します。

余白:

用紙の端に残す余白を選択します。

枚数:

用紙に印刷する、印刷対象データの数を設定します。

プレスタライズ:

解像度が登録されていない画像(ファイル)を印刷する場合にチェックをしておくと、印刷前にラスタライズ処理が実行されます。

ボタン(シートをデータにフィット):

複数の印刷対象データが収まるように、「シートサイズ」を自動的に設定します。

ステップ&リピート:

チェックを入れると入力項目の表示が切り替わり、指定されたシートサイズ内にデータを敷き詰めるように印刷できます。



シートサイズ:

データを敷き詰めるシートサイズを指定します。

オーバーラップ:

敷き詰め時のデータ重なり量を指定します。(マイナス値の指定は出来ません)

※パターン柄の壁紙を印刷する際に指定しておくと隙間(白スジなど)が出来ません。

余白:

シートの上下左右に余白を指定できます。

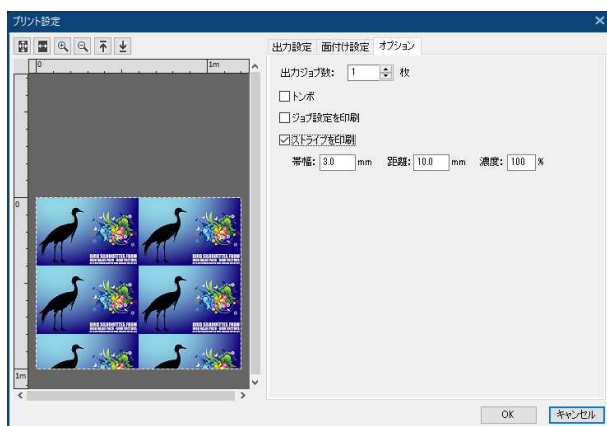
オートリバー:

交互に左右・上下反転しながらデータを敷き詰めます。

プレスタライズ:

解像度が登録されていない画像(ファイル)を印刷する場合にチェックをしておくと、印刷前にラスタライズ処理が実行されます。

【オプション】タブをクリックした場合は、その他の印刷設定をおこないます。



出力ジョブ数:

印刷する枚数を設定します。

トンボ:

印刷時にトンボを付加するかを設定をします。

ジョブ設定を印刷:

印刷物の下部にジョブに設定した印刷情報を付加するかを設定をします。

ストライプを印刷:

印刷物の右端に KCMY のストライプを付加するかを設定をします。

ストライプを印刷するにはチェックを入れて、各パラメータに適切な値を入力します。

帯幅:

KCMY の各ストライプの幅を mm 単位で指定します。

距離:

印刷時のストライプとデータの間隔を mm 単位で指定します。

濃度:

印刷時の KCMY 濃度を%単位で指定します。

※各パラメータに 幅:5mm 間隔:10mm を指定された場合は、データ幅+30mm

以上の幅があるメディアをプリンタにセットして下さい。

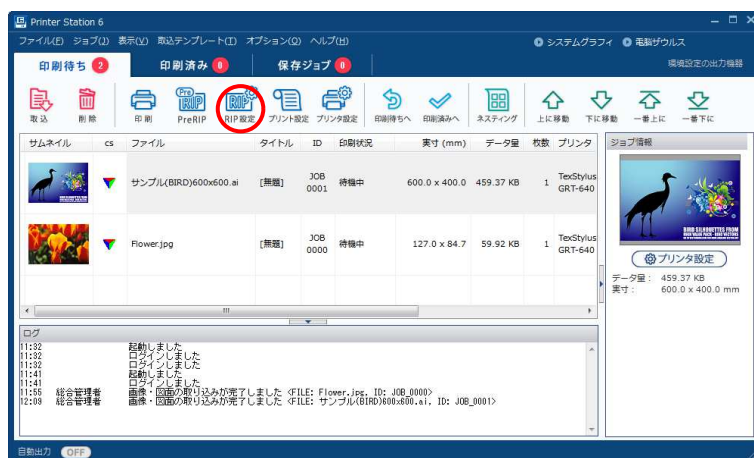
RIP 設定

ジョブを選択してから【RIP 設定】をクリックして、ラスタライズ処理時の設定を行います。

※PDF、PS、EPS、AI、MAF 以外のファイル形式はラスタライズ処理の対象外ですので、

RIP 設定はできません。

※『RIP 設定』の詳細は、別項「初期印刷設定の手順」の『RIP 設定』の説明を参照してください。

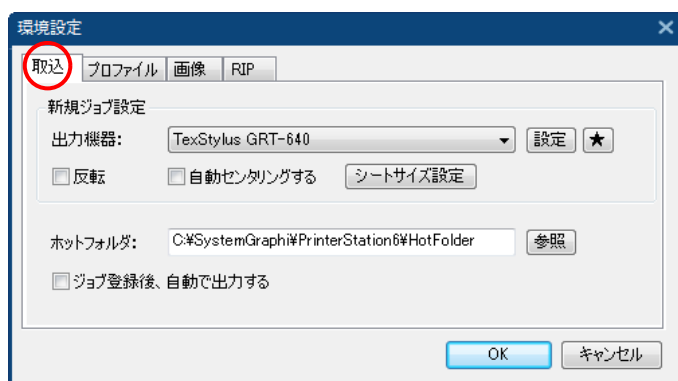


取込テンプレートを利用する

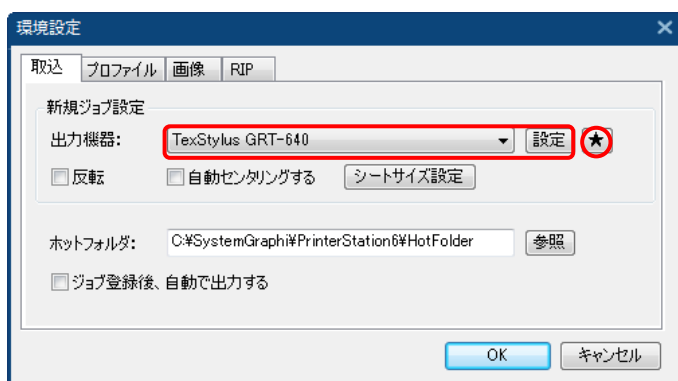
プリンタステーションでは、取込テンプレートと呼ばれる印刷設定情報を登録・利用することが出来ます。ここでは、取込テンプレートの登録手順と切替・編集について説明します。

環境設定から登録する

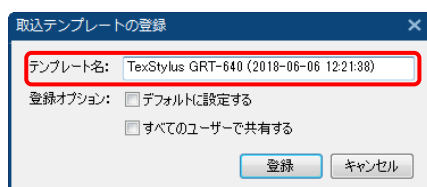
- 1.[ファイル]-[環境設定]を実行して、『環境設定』ダイアログの【取込】タブをクリックしてください。



- 2.取込テンプレートに登録する出力機器の選択を確認してから、【★】をクリックしてください。

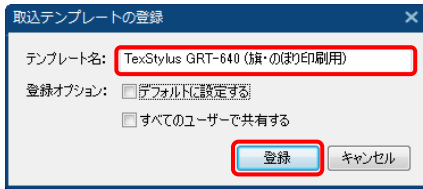


- 3.【★】をクリックすると、『取込テンプレートの登録』ダイアログが開きます。



- 4.テンプレート名には出力機器名と登録日時で構成された名称が既定値で入力されています。

取込テンプレートの選択時に機器名や出力物が把握しやすいテンプレート名を設定してから【登録】をクリックしてください。



登録オプション:

デフォルトに設定する:

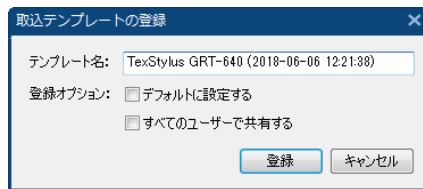
チェックを入れると登録した取込テンプレートを既定値に設定します。

すべてのユーザーで共有する:

チェックを入れると取込テンプレートを全ユーザーが利用できるようになります。

選択ジョブから登録する

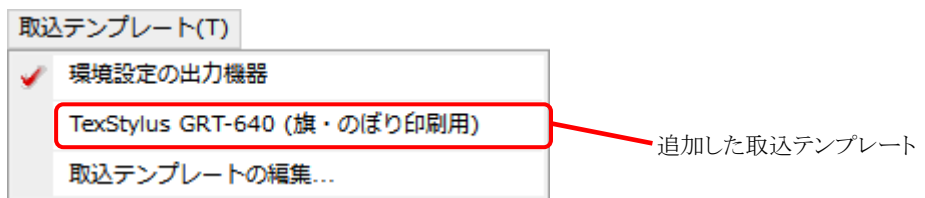
- 1.ジョブリストに表示されたジョブをクリックして選択状態にした後に、マウスの右ボタンをクリックして開いたコンテキストメニューから『取込テンプレートに登録』を実行してください。



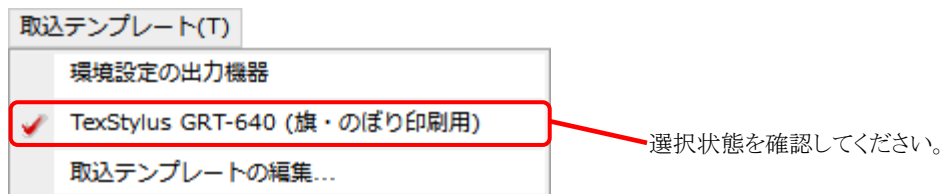
※以降の手順は「環境設定から登録する」と同様です。(手順「4」をご参照ください)

取込テンプレートを利用する

- 1.[取込テンプレート]をクリックして下記のように表示されているかご確認下さい。



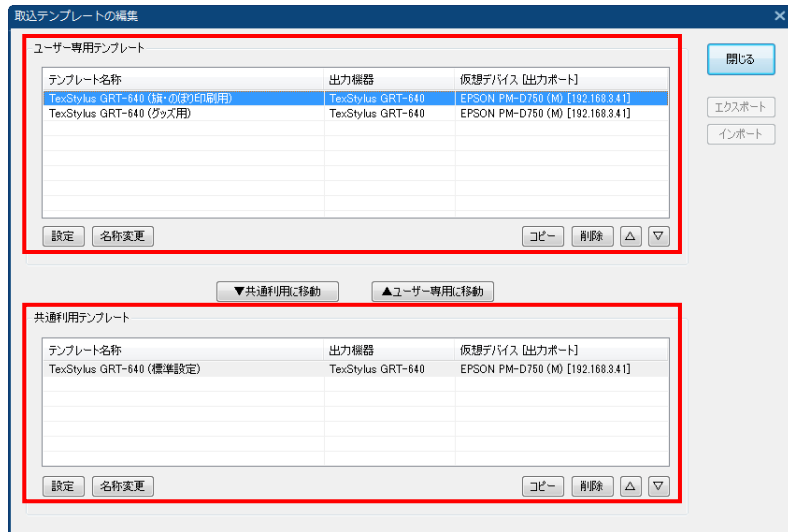
- 2.追加した取込テンプレートをクリックして選択状態にしてください。(チェックマークが移動します)



- ・取込テンプレートの選択を変更すると、取り込み時に利用するプリンタ設定が切り替わります。
- ・『環境設定の出力機器』を選択すると環境設定の取込設定で指定した出力機器のプリンタ設定を新規ジョブ作成時に利用します。

取込テンプレートの編集

1. メニューの[取込テンプレート]-[取込テンプレートの編集]をクリックすると、『取込テンプレートの編集』ダイアログが表示されます。



ユーザー専用テンプレート: ログインユーザー専用の取込テンプレートです。

共通利用テンプレート: 全ユーザーで利用できる取込テンプレートです。

設定: プリンタ設定画面が開いて印刷条件などを指定します。

名称変更: テンプレート名称が変更できます。

コピー: 選択中の取込テンプレートを複製します。(テンプレート名称に「+」が追加されます)

削除: 選択中の取込テンプレートを削除します。

△: 選択中の取込テンプレートを一つ上に移動します。

▽: 選択中の取込テンプレートを一つ下に移動します

▼共通利用に移動: ユーザー専用の取込テンプレートを共通利用に移動します。

▲ユーザー専用に移動: 共通利用の取込テンプレートをユーザー専用に移動します。

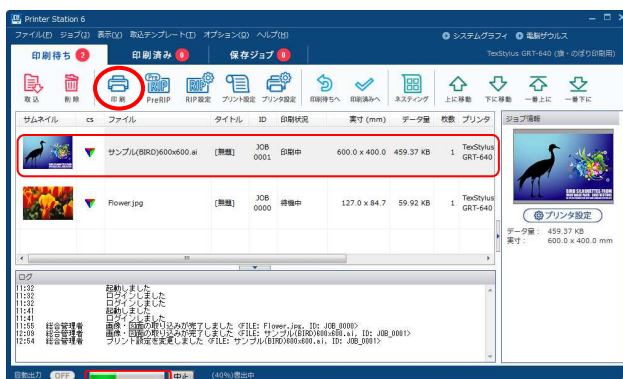
エクスポート: 別の PC で取込テンプレートを利用する場合に指定されたフォルダに取込テンプレートの設定ファイルを保存します。

インポート: 別の PC などでも利用されていた取込テンプレートを利用する場合に設定ファイルが保存されているフォルダを指定して取込テンプレートに追加します。

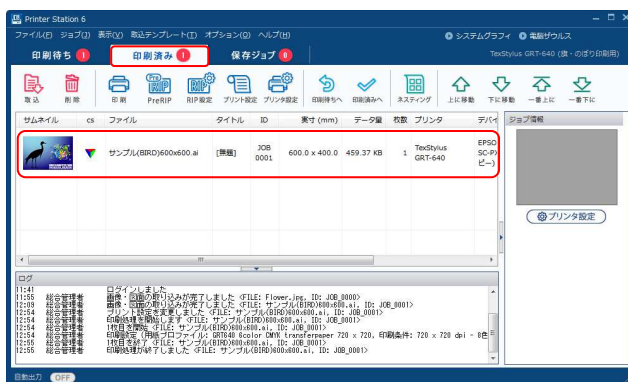
印刷を行う

印刷

1. ジョブを選択してからツールバーの【印刷】をクリックすると、印刷が開始されます。



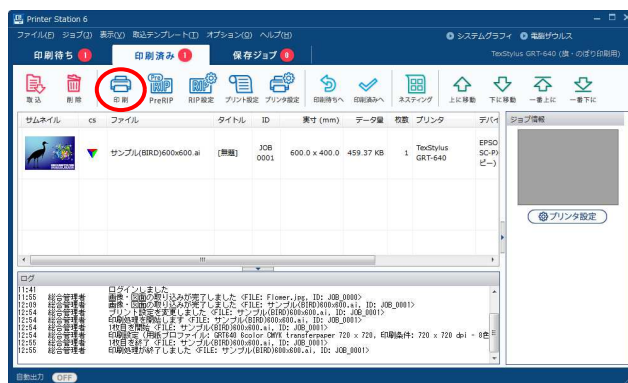
2. 印刷が終了したジョブは【印刷済み】タブのジョブリストに移動します。



※『環境設定』の「ジョブ登録後、自動で出力する」にチェックが入っている場合は自動的に印刷が開始されますが、自動印刷中に印刷を中止するとチェックが外れます。

再印刷

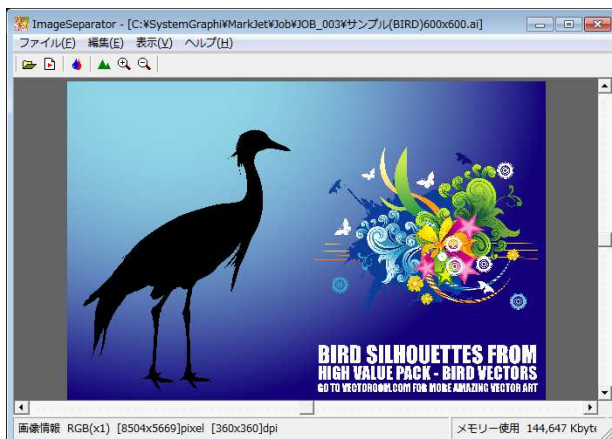
【印刷済み】タブのジョブを選択してからツールバーの【印刷】をクリックすると、ジョブが【印刷待ち】のジョブリストに移動後に印刷が開始されます。



分版を行う

ImageSeparator を使用した分版

1. ジョブを選択してから、[ジョブ]-[分版 ImageSeparator 起動]を選択するか、『プレビュー』の【分版】をクリックして ImageSeparator を起動します。



※ジョブのファイル形式が PDF、PS、EPS、AI の場合は画像変換をおこなう必要がありますので、下記の『PostScript(EPS)画像読み込み設定』ダイアログが開きます。適切な値を入力・確認してから、【OK】をクリックしてください。



解像度: 画像変換時の解像度を設定します。

解像度を制限値で自動制御する:

チェックを入れると、【制限値】をクリックして開く『RIP 制限値の設定』ダイアログの設定に従って、画像変換されるファイルのサイズ制限をおこないます。

(→『RIP 制限値の設定』ダイアログについては 11 ページを参照)

カラースペース: 画像変換時のカラーモード(RGB/CMYK)を選択します。

データのカラーモードを優先する:

チェックを入れると、ジョブが管理しているファイルのカラーモードを利用して画像変換します。

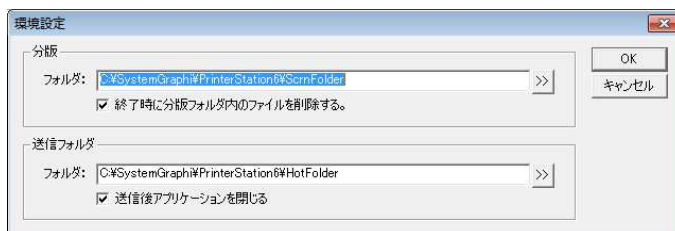
CIE カラー補正:

チェックを入れると、CIE と呼ばれる色空間を利用して画像変換します。

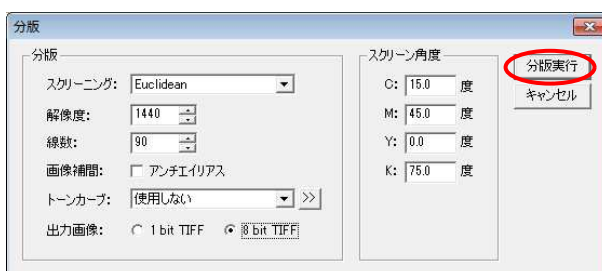
ラスター化画質:

「アンチエイリアス処理」にチェックを入れると、文字の縁などのボカシ処理を行います。

2. ImageSeparator の画面で、[ファイル]-[環境設定]を選択すると『環境設定』ダイアログが開きます。[分版]は CMYK に分版された TIFF ファイルの保存先フォルダを指定します。
[送信フォルダ]は分版により生成された TIFF ファイルの送信先フォルダです。
プリンタステーションから印刷する場合はプリンタステーションのホットフォルダを指定します。



3. [編集]-[分版]を選択するか、アイコン【分版】をクリックすると、『分版』ダイアログが開きます。この画面で分版に関する設定を行い、【分版実行】をクリックすると、分版が行われます。



スクリーニング:

網点の形状を選択します。

解像度:

分版で生成される画像の解像度を設定します。

線数:

網点の密度を設定します。

画像補間:

「アンチエイリアス」にチェックを入れると、分版で生成される画像中の色の境界にボカシ処理を行います。

トーンカーブ:

通常時は「使用しない」を選択してください。

出力画像:

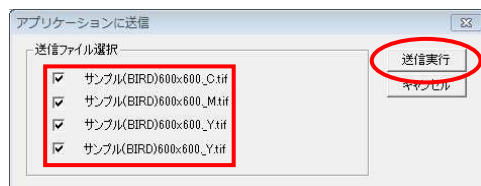
分版時に作成される TIFF ファイルの種類を指定します。

※カラー情報が必要な場合は「8bit TIFF」、不要な場合は「1bit TIFF」を指定してください。

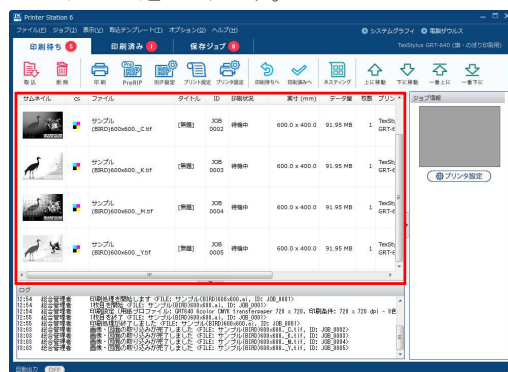
スクリーン角度:

複数のスクリーンを重ねる際に、回転させる各スクリーンの角度を設定します。

- 分版実行後に[ファイル]-[アプリケーションに送信]を選択するか、アイコン【アプリケーションに送信】をクリックすると、『アプリケーションに送信』ダイアログが開きます。送信する TIFF ファイルを選択して【送信実行】をクリックします。



- 送信された TIFF ファイル(4 ファイル)がプリンタステーションの【印刷待ち】タブのジョブリストに追加されます。



※送信先に PrinterStation のホットフォルダを設定した場合の動作結果です。

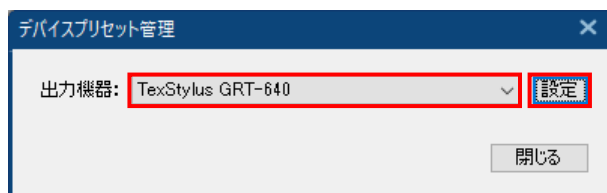
デバイスプリセット管理

デバイスプリセット管理では各出力機器に設定されている印刷設定プリセットを編集したり、システムグラフィが提供する印刷設定プリセットのインポートができます。

※以降は、ログインしたユーザー権限が「利用者」の場合における操作方法です。

印刷設定プリセットを開く

- 1.[オプション]-[デバイスプリセット管理]を実行後、対象となる出力機器を選択してから【設定】をクリックしてください。

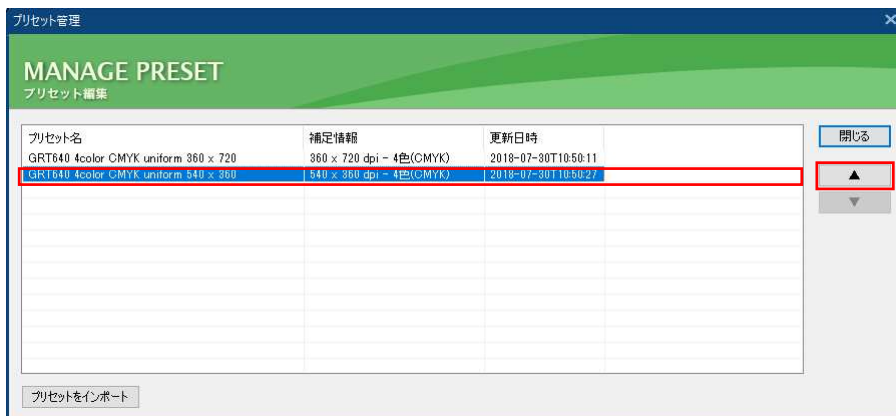


- 2.下記のように『プリセット管理』画面が開きますので必要に応じて操作してください。



2-1.プリセットの並び順を変更する。

対象となるプリセットを選択して【▲】または【▼】ボタンの操作をすると並び順が変更されます。

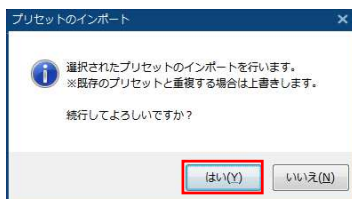


2-2-3.『プリセットのインポート』画面が開き、インポート可能なプリセットリストが表示されます。
インポートしたいプリセットにチェックを付けてから【選択したプリセットをインポート】をクリックします。

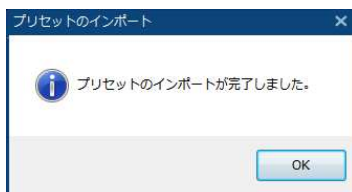


プリセットリストのチェック状態を変更します。

2-2-4. インポート実行前の警告ダイアログが表示されます。内容を確認後、【はい(Y)】をクリックしてください。



2-2-5. プリセットインポートの完了報告ダイアログが表示され、プリセットリストに追加されます。



プリンタキャリブレーション

プリンタキャリブレーションは導入時期が異なるプリンタ機器同士の印刷結果を近づけるための、キャリブレーションファイルを作成するプログラムです。

※キャリブレーションファイルの作成には別途測色機などの専用機器が必要です。

プリンタキャリブレーションを作成する

[オプション]-[プリンタキャリブレーション]を実行すると下記の画面が表示されます。

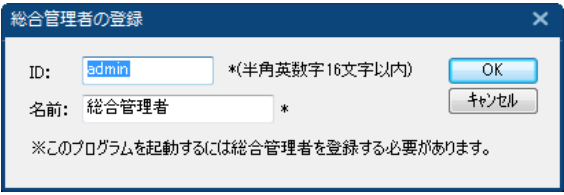


※作成手順については画面上の指示に従って作業してください。

ユーザー管理

ユーザー管理はプリンタステーションの機能制限をしたり、ログパネルに記録される操作ログを有効活用するための設定機能です。プリンタステーションの初回起動時に「総合管理者」を必須ユーザーとして登録後に、お客様のご利用に合わせて「管理者」「利用者」等を登録できます。

初回起動時の総合管理者登録



総合管理者の登録

ID: *(半角英数字16文字以内)

名前: *

※このプログラムを起動するには総合管理者を登録する必要があります。

プリンタステーションの初回起動時に総合管理者の ID と名前を決定して下さい。
また、ID は初回起動時以降に変更することが出来ませんのでご注意ください。



注意

※総合管理者の登録は必須となります。【キャンセル】をクリックした場合、プリンタステーションの利用開始が中断されますのでご注意ください。

※総合管理者でプリンタステーションを利用した場合、全ての設定項目において変更や削除が可能となりますので運用にはご注意ください。

※新規で「利用者」権限のユーザーを登録してプリンタステーションを利用することで、一部の設定項目について変更や削除を防止することが出来ます。

例)「デバイスプリセット管理」のプリセットリストなど

ユーザー管理

メニューの[オプション]-[ユーザー管理]を実行します。

※ログインユーザーの権限が利用者の場合はこの機能を利用できません。



ユーザー管理

ID	名前	権限
admin	総合	総合管理者

追加: 新規ユーザーの追加をします。

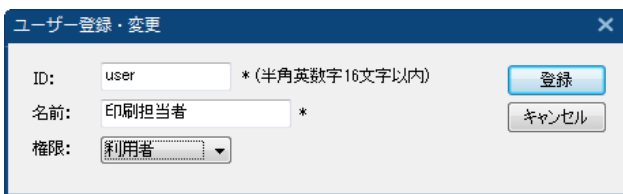
変更: ユーザーの名前を変更します。(ID,権限は変更出来ません)

削除: ユーザーを削除します。(ユーザー専用で登録した取込テンプレートも削除されます)

閉じる: ユーザー管理画面を閉じます。

ユーザー追加

ユーザー管理画面の【追加】をクリックします。



ID: ユーザー ID を設定します。(登録後の変更は出来ません)

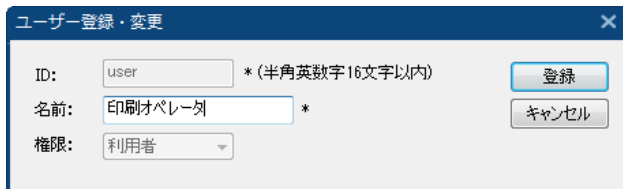
名前: ユーザーの名前を設定します。(登録後も変更が出来ます)

権限: ユーザーの権限を設定します。(登録後の変更は出来ません)

各項目を入力してから【登録】をクリックするとユーザーが追加されます。

ユーザー変更

ユーザー管理画面の【変更】をクリックします。

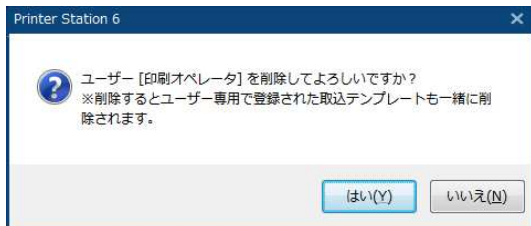


名前を変更することができます。

入力後に【登録】をクリックするとユーザーの名前が変更されます。

ユーザー削除

ユーザー管理画面から削除したいユーザーを選択して【削除】をクリックします。



上記の削除確認するダイアログが表示されるので、表示内容を確認したうえで操作して下さい。

ユーザーログイン

メニューの[オプション]-[ユーザーログイン]を実行します。



名前: 現在ログインされているユーザーの名前が表示されます。

ID: ログインするユーザーの ID を入力します。

入力後に【ログイン】をクリックすると入力情報に従ってユーザーログインが実行されます。

ログインが成功するとプリンタステーションの機能制限範囲などが変更されたり、以降の操作時に記録されるログの担当者名が変更されます。